

第5回地下空間ワーキング（議事概要）

名古屋駅周辺の大規模な浸水に対して、地下空間における人的被害、施設被害を軽減するため、国、県、市、地下空間に関係する企業等が参加し地下空間の事前の防災行動計画(タイムライン)を検討する「地下空間ワーキンググループ」を昨年10月に設置しました。

第5回目となった今回のワーキングでは、地下空間における防災行動の内容や課題について、前回に引き続き議論を行いました。

- 日 時：平成28年10月18日（火） 14:00～18:00
- 場 所：AP名古屋名駅（名駅IMAIビル）7階 L会議室
- 参加機関：中部地方整備局 庄内川河川事務所、名古屋地方气象台、愛知県警察、名古屋市、名古屋駅地区街づくり協議会、名古屋駅地区防火・防災管理協議会 他

<議事内容>

1) 台風16号における出水速報について

今年の台風16号での庄内川流域気象状況や出水状況について、速報資料を元に振り返りながら、各機関の水防災対応状況について共有しました。

2) 防災行動の参考となる情報について

台風接近時に防災行動の参考となる様々な情報（気象庁HP、国土交通省HP等）について共有を行いました。

3) タイムライン検討に用いる想定ハザードについて

今後、タイムラインの検討を行うにあたり、想定するハザードを名古屋直撃型台風とし、その台風による庄内川の破堤に伴う氾濫のシナリオについて確認を行いました。（再度）

4) タイムライン骨子について

前回議論した行動項目を策定する上で予め決めるべき、前提条件についてとりまとめるとともに、タイムラインの骨子について議論を行いました。



石川所長 挨拶



松尾座長 挨拶



ワーキンググループ 様子